

2016年11月16日
株式会社日立製作所
寧波健信核磁技術有限公司

日立と中国の健信社が MRI システム用超電導磁石およびサブシステムの 共同開発で合意

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)と、中華人民共和国(以下、中国)の寧波健信核磁技術有限公司(Chairman:許 建益/以下、健信社)は、11月7日に MRI システムの製品競争力強化に向け、超電導磁石およびサブシステムを共同開発することで合意しました。

日立は、ヘルスケア分野を社会イノベーション事業における注力 4 事業分野の一つと位置づけ、超音波診断装置、MRI システムや粒子線がん治療システムなどの診断・臨床分野から IT を活用したサービス、地域包括ケアなどのインフォマティクス分野まで、医療の質向上と効率化を実現するソリューションを提供しています。日立の MRI システムは、オープン MRI システムから 3 テスラ超電導 MRI システムまでフルラインアップを揃えており、開発のコンセプトである「Patient Friendly」を実現した、圧迫感の少ない検査空間など、幅広いユーザーに受け入れられています。

健信社は、MRI システム用の永久磁石や超電導磁石を開発、製造、販売する中国トップクラスの磁石メーカーです。日立は 2003 年以降、健信社からも MRI システム用永久磁石を採用しており、両社は良好な関係を築いています。

高齢化の進展や新興国の経済成長を背景にヘルスケア産業は拡大しており、医療機器の世界市場は約 8%の市場成長率を維持し、2018 年度に約 4,500 億ドル^(*)と見込まれています。MRI システムなどの画像診断装置は、先進国では予防医療の強化、また新興国では医療インフラの充実を目的に、今後も、継続的に需要が見込まれる市場です。特に、中国において、2015 年の MRI システムの販売台数は約 1,500 台であり、世界最大規模^(**)の市場となっています。

日立と健信社は、これまでの関係を発展させ、それぞれが持つ MRI システム開発と磁石開発の強みやノウハウを生かし、装置の性能を最大限に引き出すための超電導磁石、および、高周波回路や傾斜磁場コイルなどを最適に制御するサブシステムを共同で開発して、信頼性に優れ、より高画質な MRI システムを実現します。

日立は、共同開発した MRI システムを成長の著しい中国市場をはじめ、世界中で販売して、画像診断機器事業を拡大します。

今後も、日立と健信社は、顧客ニーズを先取りした製品を開発し、医療のさらなる発展に貢献していきます。

*1: 出典: 経済産業省「経済産業省における医療機器産業政策について」(2015 年 11 月)

*2: 当社調べ。

■照会先

株式会社日立製作所 ヘルスケアビジネスユニット マーケティング本部

[担当:中澤]

〒110-1105 東京都台東区東上野二丁目 16 番 1 号 上野イーストタワー

電話 050-3188-3100 (直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
